

## 2. ラジオも使おう

### 授業のねらい

被災地とそうでない地域においては必要な情報を得る手段が異なることに気付かせる。また、普段、情報を得ているメディアが使えない場合に備え、様々な手段を知っておくことが大切であることを理解させる。

### 授業の価値

私たちは普段、情報をテレビやインターネットから得ることが多いと思われる。しかし、台風や地震等の災害が起こって停電してしまうと、それらの手段はほとんど使えなくなる。充電した携帯電話でインターネットは使えることがあるが、東日本大震災では基地局への電源供給が途絶えたためにそれもできなかった地域があった。もし、使えたとしても、停電が長く続くと携帯電話に充電できないという問題が生じる。

その点、ラジオは災害時に強いメディアと言える。受信機は乾電池で使えるものが多く、長時間使えるものもある。さらに、送信される電波はテレビに比べると弱いため停電でも発電機である程度の時間は駆動できる。実際、東日本大震災でもラジオの電波はほとんど止まることはなかった。

この授業では、東日本大震災に際して被災地ではラジオから情報を得ていたことを教える。そのことによって、ラジオの良さに気付かせたり、非常時のために、様々なメディアの使い方を知ることが大切だと伝えたりしながら、授業を進める。

### 教科・領域等

国語・総合的な学習の時間

### 対象学年

小学校第5学年～第6学年

### 活用する資料

津波情報を得たメディアを調査したウェザーニューズ社のアンケートの一部被災者を支えたIBC岩手放送ラジオを取り上げた岩手日報のWeb記事

## ● 授業の展開

	学習活動	指導上の留意点
5分	<p><b>1. 災害時に情報を得る手段を考える。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 何で情報を得ると思いますか。 〈予想される反応〉</li> <li>・テレビ・ネット・ケータイ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビはもっとも身近なメディアであること、映像はインパクトが大きいこと、繰り返し見ることでより印象が深まることなどを押さえる。必要に応じてテレビ映像を見せる。</li> </ul>
35分	<div style="border: 1px solid orange; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>◎ <b>学習課題</b> なぜ、ラジオが使われなかったかを考えよう。</p> </div> <p><b>2. テレビ報道の特徴について考える。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● テレビ報道の良いところは何ですか。 〈予想される反応〉</li> <li>・被害の様子がよく分かる。</li> <li>・支援が必要だということがよく分かる。</li> <li>● このグラフを見てください。 津波警報は最初に何で知りましたか。(全国)</li> <li>○ 震災の情報は、テレビから得た人が多かったですね。重要な情報源であることが分かります。</li> </ul> <p><b>3. ラジオの有用さを知る。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ もう一つグラフを見てください。 先程のグラフと比べましょう。</li> <li>● 気付いたことは何ですか。 〈予想される反応〉</li> <li>・全国ではなく、宮城県のデータだ。</li> <li>・ラジオが1位で、テレビが2位だ。</li> <li>・停電でインターネットができなかった。</li> <li>・ラジオは停電でも電池で使えた。</li> <li>○ ラジオに情報があったのに、当時、テレビのニュースでは「避難所には情報がない。」という報道もされました。</li> </ul> <p><b>4. ラジオが使われなかった訳を考える。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 励まされた人がいた一方、情報がないという人もいました。どうしてラジオを使わなかったのでしょうか。 〈予想される反応〉</li> <li>・避難所にラジオがなかった。</li> <li>・クルマのガソリンがなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビには即時性があること、映像によってインパクトがあること、視聴者にとって身近なメディアであることなどを押さえる。</li> <li>・震災時のニュース映像の記憶があまりない児童には、当時のニュース映像を動画共有サイトから見せる。また、児童の実態に合わせ、刺激的な映像を避けるなどの配慮も行う。</li> <li>・資料 URL (<a href="http://weathernews.com/ja/nc/press/2011/pdf/20110428_2.pdf">http://weathernews.com/ja/nc/press/2011/pdf/20110428_2.pdf</a>)</li> <li>・自分の普段の生活も想起させ、考えやすくする。</li> <li>・普通は、避難所となった体育館にはテレビがないことや、あっても停電で見られなかったことに思い至らせ、ラジオは持って行けるし、停電でも聞けることに気付かせる。</li> <li>・資料を見せ、多くの人の努力で情報を伝え続けていたり、ラジオが実際に被災地に希望を与えたりしていたことを教える。</li> <li>・資料 URL (<a href="http://www.iwate-np.co.jp/311shinsai/sh201106/sh1106252.html">http://www.iwate-np.co.jp/311shinsai/sh201106/sh1106252.html</a>)</li> <li>・普段ラジオを使わない人は、いざという時にラジオを使うことに思い至らない可能性がある。</li> <li>・ラジオを使うということに思い至っても、実際に受信機がなかったり、電池がなかったりしたら使えないことに気付かる。</li> </ul>
5分	<p><b>5. ラジオを知り、使えることを知る。</b></p> <div style="border: 1px solid orange; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>まとめ</b> ラジオにはテレビとは違う情報が流れている。また、テレビとは違う役割がある。いざという時のためにラジオも用意し、使えるようにしておく必要がある。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ テレビは便利ですが、ラジオにも良い情報が流れています。普段はラジオを使っていない人もいますが、使えるように準備することも大切です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの家にラジオがあるか、停電時に使えるかを確認しながら、非常時に強いメディアとして注目されていることなどを説明し、本時のまとめをする。</li> </ul>

● 発問 □ 指示 ○ 説明